



# 自社ブランドのスイーツが 人気のお土産品に成長

## 課題

### 自社スイーツを 安定受注の中心へ

高知県内の地域資源を活かしたスイーツの開発・製造・販売を営む株式会社スイーツ。かつては飲食業向けの業務用商品・一般消費者向けのカタログギフト商品をメインに展開していた。中小企業では極めて困難なクリーム製造ノウハウと、パティシエ集団による独自の加工技術をもつため、取引先の要請に応じたスイーツをつくることができるが、ギフト商品は特定のシーズンに受注が集中し、定番化商品には至らない。このため安定した受注が見込める自社ブランド商品の開発と、新たな販売チャネルの開拓が課題だった。

そして南国市商工会の支援のもと、さまざまな賞を受賞した「ジャージー乳のアイスブリュレ」（以下アイスブリュレ）や「田野屋塩二郎シューラスク」（以下シューラスク）の主力商品が生まれた。とくにシューラスクでの土産物市場参入を契機に、平成28年度に大幅増益、平成29年度も同水準を維持している。そんななか、需要の増加を機械設備投資によって補ってきたが、生産性向上には限界があり、新工場移転が必須の状況になったきた。

## 支援

### 開発、販売支援で ヒット商品につなげる

上記の自社ブランドの新商品については、商工会が開発を模索していた経営者に、開発戦略・チャネル戦略の立案を提案。経営指導員と食品製造・販売分野の専門家による経営戦略会議を重ね、経営革新計画に取組んだ結果、大ヒット商品アイスブリュレが生まれた。またアイスブリュレを「ニッポン全国ご当地おやつランキング」へ出展することを提案。出展準備段階からPR方法等を支援し、会期中は県連専門経営指導員がサポートを実施。グランプリを獲得したことでその名が知られ、大ヒット商品に育成できた。

このアイスブリュレの販売は順調だったが、冷凍商品であるため販売拡大には限界があった。そこで常温商品での販売拡大を検討。そこで、生まれたのがシューラスク。土産物市場に投入することにし、商品改良や販路開拓を実施してきた。予想以上のヒット商品となって生産が拡大したため、ものづくり補助金などを活用し、シューラスク関連の各種生産設備を増強し生産性向上を実施した。



「田野屋塩二郎シューラスク」

さらに高まり続ける需要に対応するため、ものづくり補助金による追加設備投資を支援し採択された。シュー生地充填工程の生産性向上につながり、新商品チョコレート掛けシューラスクの開発でさらなる売り上げ向上にもつながった。こうした支援を通じた生産性向上により内部留保を蓄積、現在は新工場移転を計画している。商工会では、高知県緊急雇用創出臨時特例基金事業計画作成（地域資源を活かしたスイーツの外商強化事業）、商標権移転登録申請、高知県食品ビジネス応援事業計画作成なども支援している。

#### 支援の経過

期間	支援内容
H24年7月	経営革新計画の策定支援
H25年	ものづくり補助金による設備投資（豆乳関連）
H26年	ものづくり補助金による設備投資（ジャージー乳関連）
H28年	ものづくり補助金による設備投資（シューラスク関連）
H30年	ものづくり補助金による設備投資（シューラスク関連）

#### 会社概要

会社名：株式会社スイーツ  
 住所：高知県南国市物部272-1  
 電話番号：088-878-6276  
 URL：http://www.sweets-corp.com/  
 代表者名：春田聖史  
 創業年：平成18年  
 年間売上高：3億1603万円（平成30年12月）  
 従業員数：49名  
 商工会名・担当者名：南国市商工会・川崎慎司